



道徳性・規範意識の芽生え編 (平和・反戦)

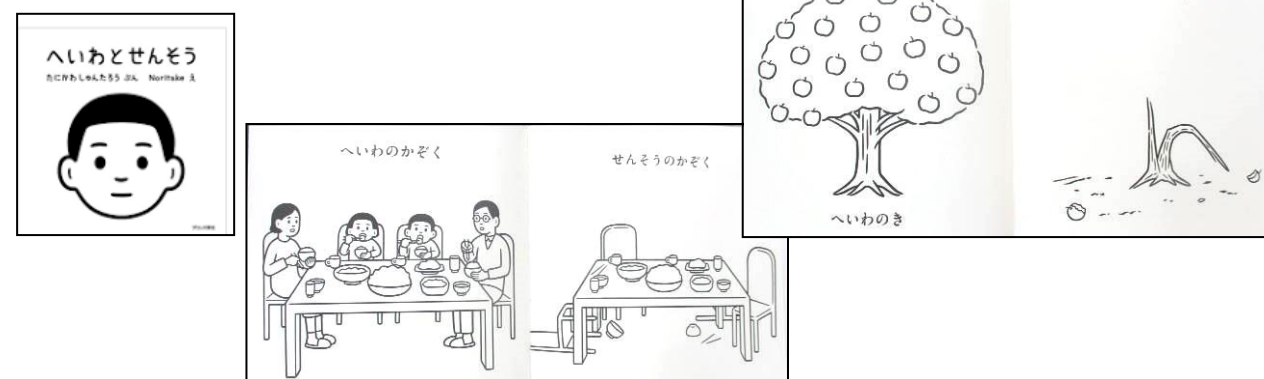
～平和のつどい～

今から81年前、8月6日は広島に、8月9日には長崎に原子爆弾が投下され、多くの大切な命が失われました。8月は戦争や平和についてメディア等で見聞きする機会や考える機会がたくさんあります。吉川保育所でも日々の保育の中で絵本を見て、毎年この時期に「平和のつどい」を行い、命の尊さについて考える機会をもっています。ご家庭でも話をする機会になればいいと思います。

＜ねらい＞

- 3歳児 自分も大事、まわりも大事ということを知る。
- 4歳児 戦争があった事実を知り、平和の大切さを感じる。
- 5歳児 命の尊さを知り、自分のまわりの人を大切に思う気持ちをもつ。

今年は、幼児はクラスごとに「へいわとせんそう」の絵本を読み、戦争と平和の対比の場面を見て考えました



戦争は最大の人権侵害であり、数多くの命が奪われます。今も外国では、戦火の中でおびえ苦しんでいる人々がいます。私たちが、食べて、遊んで、寝て、毎日過ごしている当たり前の日常が、どんなに幸せな事が気づき感じてほしいです。そして、自分の命とまわりの方の命も大切にできる人に育って欲しいと願っています。

今は難しいかもしれませんが、子どもたちが大きくなったとき、平和の意味がしっかり考えられるように、これからも繰り返し伝えていきたいと思っています。

また全クラス、『へいわってすてきだね！』のカードづくりをしました。今年は足型を押して平和の青い鳥をつくりました。本日持ち帰っています。



子どもたちの様子

＜3歳児＞

絵本を真剣に見ていました。暗い場面が出てくると不安そうな表情をしている子もいました。友だちとけんかをして、仲直りしようねと約束していました。

＜4歳児＞

絵本の対比を見て「お茶碗とか落ちて地震の時みたいになってる」「木が枯れてる」などページごとに平和と戦争の違いに気づき、「こっちの方がいい。」と平和の場面を指差しに来ていました。戦争が起こらないように「(爆弾) 落としたらあかんよって言った方がいい。」と言っていました。

＜5歳児＞

絵本の対比の場面を見て、「戦争怖い・・・。こんな嫌や。」「私たちがおばあちゃんになっても、戦争なかったらいいなあ。」「保育所行けなくなるの嫌や。」と言っていました。ねらいの『命の尊さを知り、自分の周りの人を大切に思う気持ちを持つ』の内容を伝えてから、みんなでぎゅーっと抱き合いました。

＜平和の絵本＞



＜乳児クラス編＞

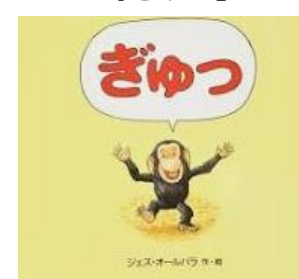
乳児クラスは、人と触れ合うことで感じるあたたかさや幸せから『自分も人も大切に思う気持ち』を育みたいと思い、下記の絵本を読み、いつもクラスで楽しんでいるふれあいあそびをしました。

人のあたたかさを感じ、自分が大切にされることで、まわりの方も自分も大切な存在だと気づいてほしいと願います。お子さんを大切に思っていることを伝えながら、お家でもふれあいの時間を沢山もってあげてくださいね。

0歳児 『すりすりももんちゃん』



1歳児 『ぎゅっ』



2歳児 『だいすき ギゅっぎゅっ』

